



小田小だより

〒236-0052 横浜市金沢区富岡西1丁目69番1号 TEL045(775)3011

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/koda/>

横浜市立小田小学校

地域と学校のコラボレーション（協働） ～ 子どもたちの育成のため ～

校長 中川 浩二

新年度がスタートしてから約1か月が経ちました。学年がひとつ上がると、子どもたちの顔つきがたくましさを増しています。新1年生も、小学校に慣れるよう頑張っている様子です。

さて、校長として学校だよりを通して、毎年1回「地域と学校」をテーマに発信しています。理由は、子どもたちのために、地域のお力が必要不可欠であり、教育的効果があるからです。今回の学校だよりでは、このテーマについて改めて発信します。

はじめに、地域（保護者の方を含みます）の方による協働について紹介します。

KCS（小田小地域コラボレーションシステム）の方は、1年生給食手伝い、学習補助、まちたんけん等付き添い、校内の花壇整備等。学援隊の方は、黄色のベストを着用して登校時の安全見守り。図書ボランティアの方は、読み聞かせや図書館整備。英語サポートの方は、英語授業のサポート。その他、自転車マナーアップ大会の指導、授業のゲストティーチャーなど。子どもたちのために、多岐にわたる協働をいただいています。いつもありがとうございます。

これらのことは、学校のみでできるのでしょうか。職員数・予算・時間などの経営資源には限りがあり、残念ながらできません。特に人手不足が学校にとって大きな問題です。これらの協働がなくなったとしたら、子どもたちにとり、マイナスの教育環境になることは言うまでもありません。

協働は、学校では手の行き届かないところをカバーし、子どもたちのためには必要不可欠です。また、学校が有していない知識・技術・経験などの教育財を活用できる利点もあります。

つぎに、協働を通しての教育的効果です。地域の方のあたたかい励ましの声かけや支援が、子どもたち自身の意欲を高め、自信につながります。地域に対し愛着をもち、感謝する気持ちを高められます。また、家庭や学校の先生など限られた大人以外と接する機会が少ない中、地域の方と接することで、大人との新たな人間関係の経験を積むことができます。

教育は、時間がかかります。積み重ねが大切です。一つ一つの協働を通して、学年が上がるにつれて、子どもたちの心によい影響が醸成していけるよう取り組んでいます。

地域の方とは、「無理をせず長く続けられることをできる範囲で少しずつやってみましょう」と、よくお話をしています。「子どもたちの育成のために」とのビジョンを共有しながら、「地域」と「学校」が自転車の両輪のように進んでいくことが大切です。これからも、地域の方との懇談を進めながら、持続可能な協働の拡充をしていきたいと考えています。

【キーワード】 コラボレーション（協働） … 同じ目的のために、力を合わせて活動していくこと

地域のみならず、保護者のみなさま、お力を貸してください。

子どもたちのために、学校とともにコラボレーション（協働）しましょう。

今回、紹介しましたKCS、学援隊、図書ボランティア、英語サポーターなど、ご協力いただける方を募集しています。ぜひとも、お力を貸してください。学校とともに、子どもたちを育成していきましょう。

詳しくは、副校長または校長へご連絡ください。【小田小学校 TEL775-3011】